

令和5年度 第1回和泉市教育委員会評価委員会

日時 令和5年5月11日(木) 午前10時00分～

場所 和泉市役所3階 庁議室

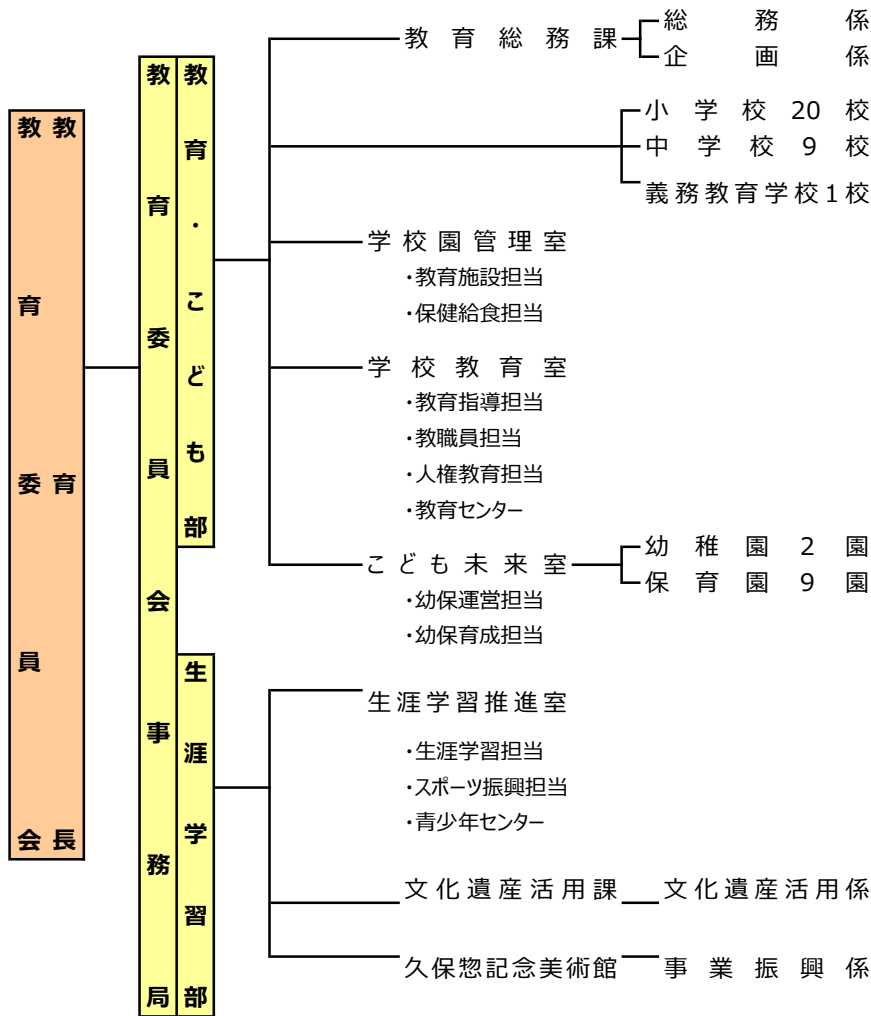
次 第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 評価委員紹介
4. 職員紹介
5. スケジュール確認
6. 教育・こども部ヒアリング
 - (1) こども未来室
 - (2) 学校園管理室
 - (3) 学校教育室

令和5年度（令和4年度事業対象）
和泉市教育委員会の点検・評価のスケジュール

	教育委員会	事務局	評価委員会
		<ul style="list-style-type: none"> ○前年度の点検・評価に対する意見の精査 ○4年度事業の評価方法の検討 ○点検・評価の素案の作成 	
5月			
11日(木)		○点検・評価シートの説明	<u>第1回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> (教育・こども部)
18日(木)		○点検・評価シートの説明	<u>第2回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> (生涯学習部)
8月			
3日(木)		○委員の意見調整	<u>第3回評価委員会</u> (点検・評価報告書(案)の決定)
24日(木)	<u>教育委員会第8回定例会</u>	○点検・評価報告書(案)議案提出	
9月		○議会に報告・公表	

教育委員会機構図



取組項目説明順序

説明順	取組項目	時間目安
1 こども未来室	3・25	10:15~10:25
2 こども未来室	1	10:25~10:30
3 こども未来室	2	10:30~10:35
4 学校園管理室	12・13	10:30~10:45
5 学校園管理室	14	10:45~10:50
6 学校園管理室	15	10:50~10:55
職員入れ替え		
7 学校教育室	4	11:05~11:10
8 学校教育室	6	11:10~11:15
9 学校教育室	5. 8. 9	11:15~11:30
10 学校教育室	7. 10. 11	11:30~11:45

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
1	公立保育所・公立幼稚園の運営	<p>【平良委員】 「需要と供給のバランスのとれた公立園及び民間園の提供」の項目において、任期付職員採用者に12名の応募があったにもかかわらず5名が辞退、とありますが理由は把握していますか。</p>	<p>【こども未来室幼保育成担当】 1 次試験時に 2 名が当日発熱等の体調不良のため辞退、2 名が任期付職員の職責を考えて辞退（内 1 名は会計年度任用職員として応募）。 2 次試験時に 1 名がコロナウイルス感染の為辞退と把握しています。</p>
		<p>【杉田委員】 文章表現の修正提案です。以下の方がよいかと思いました。 令和4年度の事業評価の②③のところ、(文末を) 育つた> 育成につながった</p>	<p>【こども未来室幼保育成担当】 修正いたします。</p>
		<p>【川口委員】 予算額（710 百万円）と決算見込額（501 百万円）に 209 百万円（約2億円）の差があります。差が出た要因についてお聞かせください。 令和4年度の事業評価「切れ目のない保育・教育」の実現」において、「必要な職員配置をすることで要支援保育が充実した」と示されています。これは、職員を増員されたということでしょうか。具体的な内容をお聞かせください。</p>	<p>【こども未来室幼保育成担当】 会計年度の保育士について、131 人の雇用を見込んでいましたが、実際の雇用は 100 人の雇用に止まったことが要因です。 年間 2 回（春と秋）に巡回相談を実施。必要に応じて加配職員を配置しています。 令和4年度は複合加配（子ども 2 人に対して職員 1 人）対象児童 184 人、個人加配（子ども 1 人に対して職員 1 人）対象児童 12 人、加配職員として 111 人を配置しました。</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
3	民間園への支援と連携	<p>【杉田委員】 以下が気になりました。</p> <p>「16名の待機児童が発生している」とのことだが、その解消の見通しが立っているか。また、待機児童が発生しないように事前にニーズを見通すといった方策は見いだしているか。</p>	<p>【こども未来室幼保運営担当】 待機児童が発生しないように、ニーズ把握と解消に向けて「和泉市こども・子育て応援プラン」を作成し対応しております。令和5年4月よりみなまつ保育園の分園が新たに開園となり、待機児童対策には一定の効果があると考えておりますが、申込者数は増加傾向にあるため、令和5年度の待機児童数等を踏まえ新たな対策について検討が必要と考えております。</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
3	民間園への支援と連携	<p>【川口委員】</p> <p>予算額（5940 百万円）と決算見込額（5472 百万円）に 468 百万円（約 4.7 億円）の差があります。差が出た要因についてお聞かせください。</p> <p>令和 3 年度の課題において「芦部保育園の民営化に伴う、医療的ケア児も含めたインクルーシブ保育を継続的に実施可能な民間認定こども園を誘致するため、募集条件を整理する」とあります。このことについて令和 4 年度にはどのような取組が行われたのかをお聞かせください。また、このことに関連してどのような予算が執行されたのでしょうか。</p>	<p>【こども未来室幼保運営担当】</p> <p>4 月末日時点での決算見込額は 5539 百万円となっており、401 百万円（約 4 億円）の差がありますが、その差については、主に民間保育施設に対する施設型給付及び施設等利用費における不用額見込みとなっています。差が出る要因として、保育士不足等により見込んでいた利用児童数に達していないことが大きいと考えています。</p> <p>芦部保育園の民営化について、令和 4 年度では募集条件を整理し、募集要領案を作成いたしました。令和 4 年度における関連予算の執行はありません。</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
4	学力向上	<p>【平良委員】 課題と改善策のところに「1人1台学習用端末を目的達成に向けて積極的に使用しているが、そのねらいと活用方法があっていない場合がある」とありますが、デジタル教科書・教材の普及促進が奨励されている中、教員への研修は進んでいますか。また、小学校における教科担任制の現状について教えてください。</p>	<p>【学校教育室教育センター】 令和4年度については、ICT活用をテーマとした研修をオンライン形式も活用し年間25回、担当者会、連絡会議を年間8回実施しました。 小学校における教科担任制については、これまでの音楽や家庭科に加えて、外国語や国語、体育、社会などの教科でも、加配教員を活用して専科指導を実施する学校も増加しています。</p>
		<p>【杉田委員】 事業⑩について、今年度の研修の内容に問題があったから改善するのか、研修の内容はよかったが現場で効果的な活用ができていないのか、その両方なのかが読み取れなかったので、「事業評価」と「課題と改善策」の欄の記述を修正・追加するなどしていただければと思いました。</p>	<p>【学校教育室教育センター】 今年度の研修内容は、学校のICT活用の推進に効果があったと考えていますが、次年度に向けてさらなる内容の充実が必要であると捉えています。そのため、「事業評価」は記載のとおりとしますが、「課題と改善策」の記述を次のとおり修正します。 「1人1台学習用端末の日常的な道具としての活用が進んでいることから、次のステップとして、児童生徒の資質・能力を育成するため、ICTを活用した授業改善に係る研修の充実を図る。」</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
4	学力向上	<p>【川口委員】</p> <p>令和4年度の事業評価の⑦について。掲載数は、何件から何件に拡大されましたか。また、これを拡大するために教育委員会としてどのようなことに取り組みましたか。</p> <p>令和4年度の事業評価の⑨について。この事業に予算はどれぐらい支出されましたか。また、教育委員会として各中学校にどのような指導助言や研修を展開されましたか。このことに関する各中学校の取組状況もお聞かせください。</p>	<p>【学校教育室教育センター】</p> <p>掲載数は、R3約460件からR4約900件に拡大されました。掲載拡大に向け、学校訪問時にみつけた好事例や校内研修支援で関わった事例、IZUMI e シェアリング研究会で作成した事例について、教育委員会から学校へ掲載依頼を行いました。</p> <p>R4予算は、システム構築業務に1,430,000円、システム利用料として、月495,000円の7か月分で3,465,000円、合計4,895,000円でした。R4は自動採点と分析における基本から応用的な活用について研修を実施しました。各学校では、分析システムを活用して学期末懇談会資料を作成したり、弱点補強問題を活用したり、Google classroomを活用したデジタルでの答案返却をするなどしております。</p>
5	英語教育・読書教育	<p>【平良委員】</p> <p>英検準2級以上を受験する割合が上昇しているとのことですが、アウトカムの達成指標である英検3級相当を受験する割合も増えていますか。英検3級は中学校卒業レベルのことですので、こちらを受験する割合が増えるのが望ましいと思います。</p>	<p>【学校教育室人権教育担当】</p> <p>英検準2級以上の受験割合の増加に伴い、英検3級の受験割合は、52.1%から48.3%へと減少していますが、英検3級程度以上の実力を有する生徒の割合は、41.1%から44.8%へと増加しています。</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
6	教職員の資 質向上	<p>【平良委員】</p> <p>令和3年度の課題に教職員の時間外労働の軽減があげられていますが、校務や学習データをクラウド上で統合するなど、ICTを使った教師の負担軽減についても検討していますか。また、昨年度末には講師が不足していると聞きましたが十分確保できていますか？</p>	<p>【学校教育室教職員担当】</p> <p>ICTを活用した教員の負担軽減については、校務支援システムやデジタル採点・分析システムを活用し、通知表や指導要録の入力、定期テストの採点業務など、教員の負担軽減を図っています。</p> <p>講師欠員状況は、令和5年5月1日現在、小学校で6名、中学校で3名、計9名が不足しています。</p>
7	生徒指導・ 教育相談体 制の充実	<p>【平良委員】</p> <p>グリーンルームに通えていない不登校児童生徒の数はどれぐらいですか。また、その子どもたちにはICTを活用するなど、「個別最適」な指導を行っていますか。</p>	<p>【学校教育室指導担当】</p> <p>R4の不登校児童生徒（年度の間に連続または断続して30日以上欠席した長期欠席児童・生徒のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者、ただし病気や経済的理由によるものを除く）数は、小中合わせて537名。その中で、グリーンルーム利用者は、26名でした。グリーンルームを利用していない児童生徒については、校内の適応指導教室や外部のフリースクール等で学んだり、ICTを活用して授業を受けるなど、個別の状況に合わせて指導を行っています。</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
7	生徒指導・教育相談体制の充実	<p>【川口委員】</p> <p>令和4年度の事業評価について。「専門家を活用した組織的なチーム対応の体制づくりが進み、問題行動等の未然防止、初期対応が充実した」と示されています。具体的には、どのような体制づくりが促進されましたか。学校の取組事例をご紹介頂ければ幸いです。また、問題行動等の未然防止、初期対応が充実した結果、問題行動の件数は減少しましたか。</p>	<p>【学校教育室指導担当】</p> <p>一例として、南松尾はつが野学園では、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーが協働し、子どものアンケートやスクリーニング結果を分析して助言を行うことで、問題行動等に対する早期発見、早期対応の体制づくりが促進されました。</p> <p>問題行動の件数については、市全体で見ると、前年度に比べて小中学校とも暴力行為発生件数は減少しており、国、府ともに増加傾向にある不登校者数も、中学校における新規不登校者数は前年度より減少しました。</p>
12	食育及び学校給食	<p>【平良委員】</p> <p>給食調理業務委託の現状を教えてください。</p>	<p>【学校園管理室保健給食担当】</p> <p>令和5年度時点で小学校：20校中2校、中学校：9校中6校、義務教育学校：1校にて給食自校調理委託業務を行っております。</p> <p>（令和6年度に新たに小学校1校が開始予定となっております。）</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
13	学校保健の充実	<p>【平良委員】 内科検診受診率と歯科検診受診率の現況を教えてください。50%というのは妥当な目標値なのでしょうか。</p>	<p>【学校園管理室保健給食担当】 令和4年度の受診率は、内科検診が40.70%、歯科検診が48.71%です。 目標値の考え方については、現状では新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により50%を下回っている状況であり、まずは影響前の実績まで戻すことをめざし設定したものです。 (内科) H30 : 50.16%、(歯科) H30 : 50.65%</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
15	小中学校の 施設維持管 理	<p>【平良委員】 （仮称）槇尾学園、（仮称）富秋学園の跡地利用の構想について教えてください。</p>	<p>【教育総務課】 （仮称）槇尾学園に関して、横山小学校では民間利便施設、住宅、広場機能など様々な活用方法について、民間事業者への市場調査を実施し、効率的な活用を検討していきます。 南横山小学校では、既存校舎や体育館を活用し、（仮称）槇尾学園の教育活動の場として利用する他、地域との連携や豊かな自然を活かした教育活動の場として、市内各校での活用なども想定しているところです。 （仮称）富秋学園に関して、池上小学校では、校舎等は除却した上で、一部広場機能を確保し、広場に防災機能を確保するとともに、その他まちに必要な機能を確保していくことを想定しています。 幸小学校では、校舎等を除却し、まちに必要な機能を確保していきます。なお、防災機能を確保については、近接する市営住宅の跡地に都市公園を整備のうえ対応することを想定しています。 必要な機能については、民間事業者だけでなく、地域主体で開催している「富秋中学校区等まちづくり検討会議」のなかでも検討を行っていきます。</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
15	小中学校の 施設維持管 理	<p>【川口委員】 予算額（1373 百万円）と決算見込額（1 2 7 7 百万円）に 9 6 百万円の差があります。差が出た要因についてお聞か せください。</p>	<p>【学校園管理室教育施設担当】 決算見込額について、支払額が確定しましたので、以下の とおり修正させていただきます。 予算額 1,373 百万円 決算見込額 965 百万円 予算額と決算額との差異（約 4 億円）の要因としては、以 下 2 点です。 ① 各種施設整備工事等の入札差金によるもの ②（仮称）榎尾学園体育館建設工事については、令和 4 ・ 5 年度の 2 ヶ年で行うものですが、令和 4 年度の工事が当 初想定よりも進捗しなかったため、出来高払いを予定して いたうちの約 3.4 億円の残額が発生しました。残額につい ては、不要額とはならず令和 5 年度に繰り越したうえ、完 了時の支払いに充てます。</p>

事前質問に対する回答（教育・こども部）

取組項目番号	事業名	質問（原文まま）	回答
25	放課後等児童の健全育成	<p>【杉田委員】 事業②の入会児童数の増加への対応が課題となっていますが、現状では問題なく運営できているという理解でよいでしょうか。乳幼児の保育ほど厳格である必要があるとは思えませんが、保育の<質>が保っているのかが気になりました。（記述はこのままでよいのですが。）</p>	<p>【こども未来室幼保育成担当】 入会児童数の増加に伴い新たなクラスを設置しております。これにより、省令及び条例で定められた基準（1クラスに2人の支援員等を配置、1クラスはおおむね40人以下等）をほぼ満たした状態で運営を行っております。</p>
		<p>【川口委員】 予算額（487百万円）と決算見込額（383百万円）に104百万円の差があります。差が出た要因についてお聞かせください。</p>	<p>【こども未来室幼保育成担当】 4月末日時点での決算見込額は391百万円となっており、96百万円の差がある状態です。 留守家庭児童会の基幹支援員について、85人の雇用を見込んでいましたが、実際は64人の雇用に止まったことが要因です。</p>